

沼田警察署協議会議事録

(令和6年度第1回定例会議)

開催日時		令和6年6月6日(木) 会議 午後4時から午後4時50分までの間 視察 午後4時50分から午後5時10分までの間	
開催場所		沼田警察署 会議 大会議室 視察 留置施設	
出席者	委員 (定数9人)	宇敷会長 大島委員 生方委員 千明委員 星野(華)委員 山田委員 須藤委員 星野(敏)委員	計 8人
	警察	島方署長 間瀬副署長 齋藤警務課長 小林会計課長 藤宮地域課長 吉田交通課長 生活安全課長代理 警務係員	計 8人
	その他		
議 事 の 概 要			
1 挨拶概要 (1) 会長挨拶 3月の定期異動で署長ほか数名の課長が異動したと聞いているが、新たな体制・新たな視点で引き続き管内の安全安心確保に尽力されたい。 委員は4年目、2年目となるが、年度替わりを機に、新たな気持ちで協議会活動に取り組んでいただきたい。 (2) 署長挨拶 今春着任した。今年度も改めて理解と協力をお願いしたい。 限られた人員で対応しているところであり、何かと行き届かないこともあろうかと思うので忌憚のない意見をいただきたい。 また、事前に行ったアンケートについて、会議の中で触れたいと思う。 今後も地域の方々と沼田警察署を結ぶ、良きパイプ役・架け橋となっていきたい。 (3) 警察署幹部自己紹介(転入者のみ) (4) 委員自己紹介(8名) 2 概況説明事項(説明者 署長 副署長 交通課長 生活安全課長代理) 管内及び県内の重点項目に的を絞った概況(R6年4月末)について説明を行った。 (1) 刑法犯認知・検挙状況(副署長) (2) 特殊詐欺発生状況(生活安全課長代理) (3) 交通人身事故発生状況(交通課長) (4) 山岳遭難発生状況(地域課長)			

- (5) 110 番通報受理状況（地域課長）
- (6) 経済安全保障上のリスクについての説明（副署長）
- (7) 警察署別治安状況（署長）

3 協議（○～委員、●～警察）

(1) 高速道路側道における除草要望

- 沼田市岡谷町地内関越自動車道 127.4KP 北側側道に木が生い茂っており、歩行者や自転車の通行に支障をきたしている。地権者が不明で区長も対応に困っているので、何らかの措置をお願いしたい。〔要望〕
- 道路管理者と現場を確認し、方針が決まったら連絡する。〔回答〕

(2) 「昭和の湯」入口における自転車の通行方法

- 昭和村大字糸井にある「昭和の湯」付近の道路で、自転車に乗った子供が下り坂から交差点に飛び出してきて危ないと感じたことが何度かあり、何か対策はできないか。〔要望〕
- 現地の状況を確認し、対応を考える。〔回答〕

(3) 信号機の新設

- みなかみ町上津大原信号機交差点の東方、新幹線の高架下付近に後閑駅方面へ向かう道路があるが、道も広くなって交通量も増えているので信号機があると安全だと思う。〔要望〕
- 信号機の設置については、自治体等からの要望を受け、交通量や交通事故の発生状況などを総合的に勘案して検討しており、現状で設置は難しいと思われるが、現地を確認する。〔回答〕

(4) 「SNS」の危険性について

- 個人情報漏えいについて報道等でよく耳にするが、スマートフォンにマイナンバーやクレジット情報を入れている現状に不安を感じている。各個人が注意を払うしかないと思うが、どういった部分に注意すべきかアドバイスをもらいたい。〔質問〕
- 例えば、スマートフォンのアプリケーションをインストールする際、インターネットではどのような評価がされているかを検索することも可能であり、検索の手間をかけることで自身の個人情報が守れることもあり、安易にインストールしないことも重要な防衛策となる。〔回答〕

(5) 不審な電話について

- 最近、非通知の電話が多いと感じる。応答すると音声ガイダンスで投資に関する質問であったが、このような不審電話でも騙されてしまう人がいると思うので、電話に出ないほかに何か方法はあるか。〔質問〕
- 非通知電話を拒否設定にすることが対策の一つである。
非通知のほかに「+」で始まる海外からの電話も管内で確認されているので併せて注意してもらいたい。

4 諮問・答申

(1) 特殊詐欺防止対策について（諮問）

定例会議に先立ち、委員に対して実施したアンケートに基づいて諮問を実施した。

- 特殊詐欺対策電話を自費で購入した方がいるが、購入に至った動機と使用した感想について教えて頂きたい。

- 自宅の固定電話機が壊れたため、量販店に行った。
店員に勧められ、特殊詐欺対策機能付きの電話機を購入した。
事前に番号を登録し、安心して電話に出ることができる。
詐欺のような電話は、メッセージが流れている間に電話が切れる。
不便を感じることはなく、買い換えて良かった。

- 詐欺防止には、犯人の電話に出ないことが最も重要
その意味で、対策電話の導入は最も効果的
市町村では、補助する制度があるので活用してもらいたい。

- 購入に、自治体の補助金が使えるのはいいと感じた。
しかし、何かきっかけがないと電話機を買う人はいないと思う。

- 委員の皆様には、購入のメリットを広めてほしい。

(2) 交通事故防止対策について（諮問）

- 薄暮、夜間における交通事故防止対策として、反射材を活用している。
アンケートでは、活用しているという委員がいなかった。
反射材着用を定着させるためのアイデアを出してもらいたい。

- 夜間、散歩するなどの機会がないため、反射材を使っていない。

- 反射材の効果／視認性に関する説明

- 襷やバンドタイプ、ベストといった、従来のものは着用抵抗感がある。
もらっても結局使わず、タンスの肥やしになっているのが現状

- クリップやマグネットでワンポイント的に着用できるといいと思う。

- 市販の服とコラボすることもいいと思う。

- 着用負担のないような反射材を取り入れてほしい。

- 着用のアイデアについては、今後、改善していきたい。

反射材の効果について、警察としても引き続き、広報に努めたい。

5 備考

次回協議会（令和6年度第2回）の開催期日

令和6年9月を予定

6 署内留置施設の視察

定例会議を終えた午後4時50分から午後5時10分までの間、当署4階の留置施設を視察した。